



素材にこだわる森のケーキ屋さんが ホームページや SNS でファンを獲得

課題

作業効率向上にともなう 受注機会損失の防止

2018年に開業した「Minion Chou Chou (ミニョン シュ シュ)」は、店舗は構えていない予約制の洋菓子(ケーキ)店だ。人気商品は、市内の農家から直接仕入れた四季折々の旬のフルーツを使ったバースデーケーキやタルト、栗の甘さを引き出したモンブランなど。受注製造のため、すべて注文時に顧客の好みや要望を聞きながら商品を提供している。

好きなキャラクターのイラストを付けられるデコレーションケーキも売れ筋の一つ。原料を厳選しているので価格はどれも割高だが、素材にこだわった味や品質についての評価は高く、たくさんのリピーターがついている。顧客は20代~40代が多く、20代~30代の子育て世代は主にバースデーケーキの注文が中心だ。40代以上の顧客は、バースデーケーキだけでなく、ロールケーキやシュークリームなどの注文も目立つという。

課題は、夏場には売り上げが減少すること。また、すべての作業を事業主一人で行っているため、作業効率のアップを図り、配達時間を縮小することも課題の一つ。ケーキを取りに来る客用の駐車場の整備も検討している。

支援

インスタグラムで販路開拓 地域外からも受注飛び込む

長浜町商工会では2018年度に新設された「大洲市中小企業者・小規模事業者応援事業補助金」の創業補助金の活用を視野に入れ、創業前の4月、5月に特定創業支援事業として、経営面・財務面・人材育成・販路開拓についての説明や創業計画書の作成支援を行った。

また、ホームページやSNSを活用して販売機会を広げるため、専門家派遣制度による、ホームページやショップカードの制作、SNSでの販路開拓手法、ブランディング支援も実施している。効果的な写真の撮り方を習得し、SNS(インスタグラム)で頻りに商品の写真を投稿したところ、非常に反響が高く、地域外からも受注が飛び込むなど、販路は着実に広がった。

2018年8月には、伴走型小規模事業者支援推進事業で実施した創業個別相談会に参加し、中小企業診断士から「現状の受注製造のスタイルを続けるのであれば、今後始めるホー



同店のブランディングや商品PRを支援



ムページ・SNSでの商品PRに加え、地域資源を活用した季節限定商品の開発など、独自色を打ち出してみようか」との助言を得た。生産効率アップや駐車場の整備に関しては、小規模事業者持続化補助金の活用を提案し、事業計画書作成の支援を行っている。現在、申請を行っている段階だ。

今後は、焼き菓子も含め、地元食材を使った新商品の開発を行い、店のイメージにあった商品を製造して、土産(ギフト用)として定着させていく。将来的には道の駅など、実店舗に出品する計画も掲げている。

支援の経過

| 期間 | 支援内容 |
|---------|-------------------|
| 2018年4月 | 創業支援 |
| 5月 | 販促ツール導入、ブランディング支援 |
| 8月 | 創業個別相談会 |
| 10月 | 経理IT化支援(会計ソフトの導入) |
| 2019年7月 | 持続化補助金の申請支援 |

会社概要

会社名：Minion Chou Chou
住所：愛媛県大洲市豊茂甲688
電話番号：0893-57-0077
URL：<https://minionchouchou.com>
代表者名：鎌田菜那
創業年：2018年
従業員数：0名
商工会名・担当者名：長浜町商工会・松田恵美